第２回　下筌ダム貯水池周辺地盤観測検討委員会審議要旨

日　時：平成１９年２月２日　午後２時～３時３０分
場　所：大分県日田市　ホテルソシア
出席者：
　岩尾雄四郎委員長、藤田壽雄委員、藤澤和範委員、西山隆司委員、安藤日出男委員（代理：奈須宏二参事）、勝木和徳委員、吉田桂治委員

議事	審議要旨
第１回委員会 議事要旨確認	● 既往の観測資料について、平成元年度までさかのぼって整理する。 ● 栃原・鳥梁地区の地形の変化について、過去の写真等を手がかりに整理を行う。
観測データに基づく評価	● 検討資料内の計測結果から、各地区とも地すべり運動の兆候を示しているとはいえない。 ● 一部の地盤傾斜計で月あたりの変動量が 20 秒を越えているものも見られるが、平成元年～18 年度の 18 年間の総変動量は最大でも 1 度程度であることから、斜面管理上問題はないと判断される。 ● ダム操作と各計器の変動との相関性もみられない。
空中写真に基づく地形の変化状況	● 鳥梁・栃原・田台の各地区では、鳥梁地区で昭和 44 年に発生した崩壊以外に、大規模な斜面崩壊が発生した痕跡は認められない。
今後の観測体制について	● 長期間のダム運用に対して，地すべり現象が認められないことから，計器観測の必要はないと判断される。